

高齢者施設等における口腔に 関する健康支援

学科・専攻 : 関西女子短期大学
歯科衛生学科

担当教員 : 畑田 晶子

連携先

社会福祉法人 大阪済生会

障害者支援施設 ふくろうの杜

プログラム内容

施設利用者やその家族等地域住民からの要望により近隣を中心とした各市の施設利用者である要支援・要介護の方々の口腔の健康に関する低下予防を図るため、学生たちは利用者の方々と触れあうなかでコミュニケーション能力を養うとともに健口体操を通じて口腔ケアや食事支援などについての必要性を学ぶことを目的として実施性増す。

成果・考察

今回は、障害者施設にて歯磨きを実施しました。
歯科衛生学科2年生が6日間にわたり、のべ36名が参加しました。

学内実習には慣れてきたころですが、同年代以外の人の中の中を見ることも初めての学生が多く、最初はおぼつかない手つきで歯磨きをしていましたが、何人かの歯磨きを行ううちにコツをつかんで、手際よく笑顔で歯磨きの介助を行っている学生の姿が印象的でした。

施設職員の皆様は、日ごろから1日3回、歯磨きに取り組まれています。ほんの数回ではありますが、歯磨きを学生が行うことで、利用者様と関わる時間が長くなると喜ばれていました。また、今後も連携を行っていききたいと、非常に好評です。

利用者の方は、学生を目の前にすると少し緊張される様子も見られましたが、歯磨きに協力くださっておられました。

※個人情報等の観点より、写真は撮影しておりません。

関西女子短期大学
歯科衛生学科
畑田 晶子 准教授

普段接することのない年代の方の口腔ケアは、これから歯科衛生士を目指す学生にとって非常に実りのある時間であると思います。
ご協力いただきました皆様に感致します。

参加者の声

今までは、学内の実習で同級生の口の中しか見たことがなかったが、自分より年齢の高い人の口腔内を初めて見て勉強になった。(Aさん)

口の中の状態が皆さん違うので、それぞれの口の中に合った磨き方を考えていかないといけないことが分かった。(Bさん)

コミュニケーションを取ることの重要性がわかった。(Cさん)